

事業所名

児童デイサービスいっばいっば宮下

支援プログラム（参考様式）

作成日

R6

年

9月

5日

法人（事業所）理念		障がいを持って生活している人の希望であること					
支援方針		子供は皆、生まれながらに成長する力を持っています。さまざまな理由により成長が遅れることがあっても、「いっばいっば」少しずつでも成長していくサポートをしていきます。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルや日常生活動作（食事、着替え、トイレでの排泄、身の回りの清潔など）を身につけるために、一人ひとりに合わせて介助方法を考え、支援します。					
	運動・感覚	体操、風船あそびやボールあそび、サーキット等を通して、身体感覚や感覚を刺激をし、バランス感覚、空間認知力、運動機能などの発達を促します。のびのびと体を動かす楽しさを感じながら、繰り返し経験することで「できた!」という成功体験を積み重ねます。					
	認知・行動	スライムや粘土遊び、砂遊び等、いろいろな感覚を感じたり、季節ごとの行事や遊びを経験したりする中で五感を刺激し、物の名称や色、形、数の概念の形成を図ります。					
	言語 コミュニケーション	安心できる環境の中で、信頼できる先生に自分の要求や気持ちを伝えたいという気持ちを育みます。一人ひとりに合わせて、意思の伝達ができるよう支援し、コミュニケーションの方法を学びます。					
	人間関係 社会性	小集団の中で、設定活動や遊び、運動に親しみながら、順番を守る、待つ、ルールを守る、感情のコントロールなどの経験を積み重ねて、社会生活に適応するために必要なスキルの獲得を支援します。					
家族支援		家族の困りごとや子どもの特性の理解に向けた相談援助を行うと同時に、家族のレスパイトケアも大切にしていけるよう、また保護者同士が気軽に話したり、情報共有したりできるよう、定期的に交流の機会を提供する。			移行支援		進路や移行先の選択について、家族への相談援助を行ったり、移行先との支援内容の共有や支援方法の伝達を行う。
地域支援・地域連携		子どもが地域で適切な支援を受けられるよう、保育園や幼稚園などの関係機関との連携を行い、子どもの状態や支援内容についての情報を共有し合う。			職員の質の向上		積極的に外部の研修や講習会に参加し、後日、学んできたことを発表したり、勉強会を開いたりしながら、職員間で情報を共有し合う。
主な行事等		季節ごとの行事(花見、運動会ごっこ、七夕、夏祭り、水遊び、お月見、ハロウィン、クリスマス、お正月あそび、節分、ひな祭り等) 毎月1回 身体測定、避難訓練(火事、地震、不審者、竜巻台風について内容はローテーションで)、誕生日会					